



につさい

【校訓】自ら

【学校教育目標】

考える子・思いやる子・げんきな子

笑顔あふれる学び合う学校を目指して

入西小学校 令和3年8月30日 校長・太田 久美子

元気な子供たちに会えました。 2学期 スタートです。

三日遅れで2学期がスタートしました。緊急事態宣言下の夏休み。どのように過ごされましたか？熱中症を心配する暑い時期は、オリンピック観戦で在宅。さあ、外で体を動かそうと思った時期は、降り続く雨で在宅。そんな夏休みだったのではないのでしょうか。近年の度を越えた暑さと雨量、そしてウイルスも自然界から発生したものと考えると、・・・自然には抗えないと思いながらも、人間ができることはないか、と考えるこの頃です。

そんな中でも、「一生懸命取り組む姿」に感動したオリンピックの選手、医療従事者の方々、水害への対応をされている消防や自衛隊の方々、観光客の来ない観光地の方々、飲食店の方々・・・それぞれが、「今できること」を一生懸命に取り組み、互いに支え合い、自分のためだけでなく「人のために」頑張る姿をメディアを通して見てきた夏休みでした。

2学期は、運動会をはじめとして多くの行事が計画されています。坂戸市内の状況をよく見ながら、実施を決めていきます。そのような中でも自分が楽しいだけでなく「友達も楽しい」という意識を持たせるために、どのように取り組むかを考えさせ、実行させていきます。そして、その中で達成感や成就感を味わわせ、人間関係づくりに役立てたいと思います。

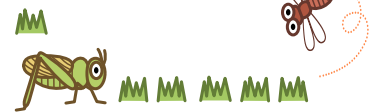
なかなか「集団活動」しにくい昨今ですが、「子供同士を繋ぐ」意識を持ち、感染症対策（手洗い・換気・マスクの着用・健康観察）を徹底しながら、子供たちの心を繋いでいきます。

とはいうものの、状況等によっては計画を延期または中止にせざるを得ないことがあります。「子供を主役にした」視点で考え工夫していきますので、2学期も引き続きご理解ご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

2学期 始業式の話 (MEET を使って)

今日が3日予定より遅れましたが、2学期最初の日です。夏休みの間、健康に気を付け、怪我に気を付け、充実した毎日を送れたみんなと会えたこと、うれしく思います。今日は、2学期に頑張ってもらいたいことについてお話します。

2学期は、運動会や校内音楽会、各学年の校外学習など、多くの行事が計画されています。その行事を通して



「どうしたら、自分も友達も楽しくできるか」を考え、行動に移してほしいと思います。

「行事を通して学んだこと」を見つけ、身に付けてほしいと思います。

学校というみんなが集まる場所では、「自分だけが楽しい」というのは間違った楽しさです。多くの人が集まる場所では、「自分も楽しい、みんなも楽しい」ということが本当の楽しさになります。そのためには、どのように計画したら良いか。どのように行動したら良いか考えて実行していきましょう。

「行事は楽しかった」だけでは、気持ちしか残りません。学校は学ぶところです。そして、学ぶために行事があるのです。この行事を行う準備の時から、実際行ってまでの中で、何を学んだか言葉にしていましょ。話すことで伝えても良いでしょう。書き留めることで整理しても良いでしょう。何かを学び取ろうという気持ちで、取り組んでいましょ。

そして長い2学期ですが、何をやるにも「健康第一」です。健康でいられるために、栄養バランスの良い食事・適度な運動・手洗い消毒、そして自分の体を気にすること、そんな4点に気を付け1学期と同じく、みんな楽しく学んでいましょ。

入西小の感染症対策

- 1 「登校前の検温（家庭）」で実施したものを健康観察票で毎朝確認します。
体調が悪い時は、無理して登校させないでください。
- 2 「マスクの着用」を徹底します。学校にいる間は、原則着用します。
体育の時間は外すことができます。また、暑さとマスクのために熱中症にならないよう、付けたり外したりしますので、記名できるものについては、記名もお願いします。予備をランドセル保管で入れておいてください。
- 3 「手洗いの実施」を回数多く入れていきます。石鹸を使用する。流水で洗い流す。手の平等の細かい部分も丁寧に洗うよう指導していきます。洗った後は、自分のハンカチやタオルで拭き取らせませす。そのためのタオル等も持たせてください。
- 4 共用部分の手すりやドアノブは、児童が登校終了後、消毒していきます。
- 5 給食用の配膳台は、使用前に消毒します。
- 6 学習時、給食時などの座席は、前向きにしてそれぞれの席を離します。
- 7 感染リスクの高いと言われている学習は、情勢が落ち着くまで実施しません。
- 8 他クラスや異学年等の交流は、できるだけ行わず、画面越しでの（Meet）交流を推進します。

9月の行事予定	※詳細は、学年だよりをご覧ください。
8/27（金）臨時休業日	8（水）教育相談日 Meetにて
30（月）短縮3 11：15下校	18（土）授業日 5時間 弁当持参
31（火）短縮4 給食開始	24（金）運動会振替休業日
1～3年13：50下校	27（月）運動会前日準備 給食有
4～6年14：10下校	1～5年短縮4時間 6年5時間
9/1（水）～10（金）短縮4 給食有	28（火）運動会 給食有
1～3年13：50下校	1～3年13：50下校
4～6年14：10下校	4～6年14：10下校
	30（木）3年生校外学習



校長室から その5

夏休み中、ある研修会でこんな話を聴きました。

「子供の自律を考えましょう。今後の社会は自ら考え、自ら学ぶ人間をニーズとしています。今までのような言われたことを言われたことだけやるような受け身な人は、社会に必要とされなくなります。学校は、親は、どのように子供を育てていったらいいでしょう。」と話が始まりました。皆さんは、どのように考えますか？

「ひと昔前」という言葉の「ひと昔」を以前は10年前を指していたそうですが、今は5年くらい前を指すそうです。それくらい速いスピードで社会は変化し、それに対応できる人を育てていかなければならないのです。私たち大人が子供のころの社会のニーズと今の社会のニーズが大きく異なっているということに気づかなければなりません。

「手をかければかけるほど、人は与えられることに慣れていきます。そして、もっともっとと要求するようになります。そして、最後にはうまくいかなかったことを誰かのせいにしていきます。それは、主体性も失い、自分も他人も嫌いになる不幸な気持ちにしかならないということです。例えば、朝起きることのできない子供に起きなさいと声を掛けます。目覚まし時計をセットしてあげます。2回も3回も手を変え品を変えて起こします。そんな親のサービスに慣れてしまうと子供は、「起きられなくて遅刻するのは、お母さんのせいだ！」なんて文句を言うようになります。この状態は、子供の自律を促していない状態であり、成長していきません。」と・・・これは、大人も同じです。サービスに慣れてしまうと、自分で考えない、要求だけが高くなる・・・身に覚えはありませんか？そんな学びを夏休みにしました。皆さんへの一考を投じるとして、学びのおすそ分けをしました。